

令和7年度アクションプラン



学校では、学校の教育目標「元気な体と素直な心で 進んで学ぶ子供の育成」の実現に向けて、徳・知・体の領域で現状と課題を捉え、「達成目標」を設定し、方策を立て、「アクションプラン」と名付けて取り組んでいます。

本年度の「アクションプラン」は以下のとおりです。これらを教育活動や家庭生活において、意識しながら目標数値を達成できるように進めていきます。

評価は、学期毎に行う予定の「児童の自己評価カード」と「保護者アンケート」によって行います。今後の学校運営協議会で結果を基に、運営委員の方々からも意見をいただく予定です。アンケートの結果や評価（A、B、C）は、学校だよりやホームページでお知らせします。

重点項目	徳 生徒指導（温かい人間関係の構築）
重点課題	温かい人間関係を築く子供の育成
現 状	・相手意識をもち、相手や場に応じた挨拶をする子供が少ない。 ・友達に対して、適切な言葉遣いで話したり、優しく接したりするなど、相手を思いやる言動をすることができない子供や、よりよい関わり方が分からない子供がいる。 ・昨年度の結果 79.7% → 84.7% → 82.1%
達成目標	自己評価カードの達成率80%以上を目指す。（挨拶）
方 策	◎温かい人間関係を構築する能力の育成を目指す。 ・運営委員会が中心となり、相手意識をもった挨拶を習慣化させるための策を考え、実践する。また代表委員会等の機会を利用し、挨拶への意識を高めるための話合いを設定したり、実態に応じて個別に指導したりして、挨拶運動の充実を図る。 ・朝活動や学級活動の時間に、ソーシャルスキル・トレーニング等を適切に取り入れ、温かい人間関係を築くことができるようにする。また、ふわふわ言葉を広めたり友達のよさを紹介したりするための取組を、学級や学年、学校全体等で行う。
外部評価者	学校運営協議会委員、保護者
公開の方法	学校・学年・学級だより ホームページ 学級懇談会

重点項目	知 学習指導（基本的な学習習慣づくり）
重点課題	主体的に学ぼうとする子供の育成
現 状	・昨年度の取組を通して、「桜井小☆学習の約束」の学習の準備を整えたり、話を最後まで聞いたりする姿勢が少しずつ育ってきた。今年度も継続して指導を行うことで、さらに確実な学習規律の定着を目指していきたい。 ・昨年度の結果 89.6% → 85.7% → 92.7%
達成目標	自己評価カードの達成率80%以上を目指す。（学習規律）
方 策	◎学習規律の定着を目指す。 ・「桜井小☆学習の約束」の5つの目標（①挨拶が終わったら次の準備をしよう②学習用具をそろえよう③先生や友達を見て最後まで話を聞こう④先生や友達に自分の考えを伝えよう⑤各学級での学習に関する目当て）について、学級全体で約束を理解し、継続して取組を行う。一人一人の子供や学級全体の取組の様子を教師が見取ったり、学級全体で振り返ったりする機会を定期的に設け、子供たちが主体的に取り組めるよう、指導を工夫しながら、定着を目指す。
外部評価者	学校運営協議会委員、保護者
公開の方法	学校・学年・学級だより ホームページ 学級懇談会

重点項目	体 保健指導（望ましい生活習慣の育成）
重点課題	規則正しい睡眠を心がける子供の育成
現 状	・とやまケンキッズ作戦の結果から、メディアの使用時間が長く、就寝時刻が遅い子供が多い。 ・就寝時刻が遅く、自分で決めた就寝時刻を守ることができなかった。 昨年度の結果 59.1% → 56.6% → 66.8%
達成目標	自己評価カードの達成率80%以上を目指す。（睡眠）
方 策	◎子供が自らの生活リズムを見直し、望ましい睡眠習慣の定着を目指す。 ・「健康づくりノート（とやまゲンキッズ作戦）」等の各種調査を用いて実態を把握し、基本的な生活習慣が身に付くよう発達段階に応じて指導する。 ・学習参観や学校保健委員会、懇談会、各種便り等を活用して、保護者へ睡眠の大切さを周知し、各家庭での協力を呼びかけていく。
外部評価者	学校運営協議会委員、保護者
公開の方法	学校・学年・学級・保健だより ホームページ 学級懇談会